

## 薬剤師の配置時間見直しへ

### 厚労省 年度内に一定の方向性

厚生労働省は2020年11月26日の規制改革推進会議医療・介護ワーキンググループで、OTC医薬品販売に関する薬剤師や登録販売者の配置時間や対面販売の規制について「早急に見直す方向で検討する」方針を示した。特に有資格者の配置については、年度内に一定の方向性を示すと明言したが、委員からは検討の加速化を求める注文が相次いだ。

OTC薬の販売をめぐるのは、10月の会合で日本フランチャイズチェーン協会などが、開店時間のうち半分以上は薬剤師等の有資格者を配置する規制を見直すこと、オンラインを活用した遠隔システムで有資格者が患者の相談を受け付けた上で、在庫のある最寄り店舗でOTC薬を受け取ることができるよう要望していた。

この日のWGで厚労省は、見直し

を求められた規制について「早急に見直す方向で検討したい」との考えを示した。特に有資格者を営業時間の半分以上配置する規制に関しては、今年度中をメドに一定の方向性を出したいとした。

ただ、委員からは「見直しの内容や検討の進め方などについて、早く結論を出してほしい」「年度内というタイムスパンでは遅い。スピード感を持った取り組みが必要」など、より踏み込んだ取り組みを求める意見が相次いだ。

大石佳能子座長（メディヴァ代表取締役社長）も「世間や関係者の求めるスピード感に追いついていない。従来の規制の枠内で検討しているように見え、根本的な考えから振り返った上で進め方を改めて整理し、早急に取り組んでもらう必要がある」と述べた。

(2020年11月30日掲載)

### MR認定センター

MR認定センターは「2020年版MR白書」をまとめた。2020年3月末時点のMR総数は、前年比2742人減の5万7158人となり、2年連続で過去最大の減少となった。2000人以上の大幅な減少が続く厳しい状況が明らかになった格好で、減少したMR数のうち、MR雇用規模が1000人以上の企業のMRが約6割を占め、大手製薬企業を中心とした人員削減が大きく響いた。

同センターに登録している企業総数は、昨年から3社減の200社となった。内訳を見ると、内資系企業が3社減、外資系企業が1社減、MR業務委託・派遣企業(CSO)が1

## MR総数、過去最大減続く 製薬大手の人員削減が影響

社増となった。

MR総数は、13年度の6万5752人をピークに、14年度が1095人減、15年度が522人減、16年度が950人減、17年度が752人減、18年度が2533人減となっており、19年度は過去最大の2742人減で、6年連続の減少となった。

認定取得者は2522人減の5万6058人で、MR認定証取得率は98.1%だった。管理職数は537人増の8717人と増加に転じた。

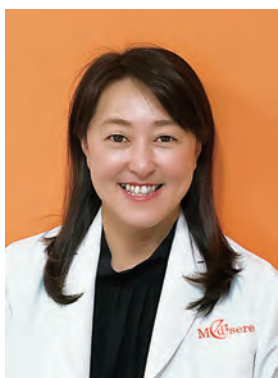
MR雇用規模別のMR数は「99人以下」が20人増、「100人～299人」が64人減、「300～499人」が124人減、「500～999人」が961人減、「1000人以上」が1613人減となり、大手製薬企業のMR数減少が目立った。

薬剤師のMRは、156人減の4997人だった。MR総数に占める薬剤師MRの比率は0.1ポイント増の8.7%となった。

MRの新卒採用を行った企業は、0.4%減の85社。そのうち、内資系企業が68社、外資系企業が17社となった。中途採用したのは130社で2.4%増加した。

(2020年11月2日掲載)

## 国試合否は相対評価



メディセレスクール  
社長

児島 恵美子

こんにちは。メディセレのしゃっちゃん、児島恵美子です。厚生労働省は医師需給分科会で2023年度以降、医学部の定員を減らすと発表しました。あれ？薬学部は春に2校増えますが？時代の先端を行く医学部と薬学部は別の道を歩いているのでしょうか…。

また、令和2年度医療関係国家試験に関わる新型コロナウイルス感染症対策についても厚労省から発表がありました。要約いたしますと、濃厚接触者も当日無症状であれば、別室で受験可能です。しかし、37.5℃以下の体温であっても咳をしていたら、受験させてもらえないかもしれません。何という事でしょう。国家試験会場に入る前の

### 国試予備校の現場から

サーモグラフィー関門が緊張します。健康なことが国家試験受験の必須条件ですね。体調管理をしていきましょう。

メディセレで実施した薬剤師国家試験の模試結果を見ると、最高得点は昨年度294点、今年度297点と大きな差はありませんでした。しかし、各薬系大学の最高得点者の平均点と、最下位得点者の平均点の差を見ると、昨年度は最高得点者の平均点は260点、最下位得点者の平均点は101点でその差は159点差でしたが、今年度は最高得点者の平均点は270点、最下位得点者の平均点は90点でその差は180点でした。これはできる人とできない人の差が20点も広がったということです。

このコロナ禍でも、やっている人はやっています。国家試験は相対評価になります。どんな状況でもマイペース

でよいですから、やれることをやっていきましょう。みんなやっていないでしょ？という考えは間違いです。なんとかするという考えも甘いです。国家試験だけはなんともなりません。

みなさんのゴールは、薬剤師という医療人の一員としてみんなの健康を守ることです。この立場だから言いますが、国家試験合格がゴールではなく、薬剤師として活躍することが皆さんのゴールです。授業を選んだりしていませんか？すべて国家試験につながりますよ。6年生の直前期に焦っても、間に合わないかもしれませんよ。国家試験に向けて早いうちから準備をしていきましょう。大学の授業をおろそかにせず、積極的に参加しましょう。必ず学ぶ事があります。皆さんの大学生活が充実することを願っています。

## 「考える力」「対応力」を身につけて、効率よい充実した実習にしよう！

改訂モデル・コアカリキュラム対応

# 薬学生のための臨床実習

一般社団法人日本病院薬剤師会 監修

一般社団法人日本病院薬剤師会薬学教育委員会 編集

### ■代表的8疾患の症例について薬物治療の考え方や進め方を対話形式で解説

カルテや患者情報から、学生と指導薬剤師のディスカッションを通して薬物療法を検討し、医師への処方提案、患者への服薬指導、学生カルテの記録までの流れがわかります。

◎ポイントごとに「何をどう考えていけばよいか」が掴める！

◎実際の医療現場をイメージしながら学べる！

詳細はコチラ▶



B5判 / 159頁 / 定価 2,300円 + 税

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ(<https://yakuji-shop.jp/>)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。